



ASSIST

2013.6
No.29

帝京大学医学部附属病院

帝京大学医学部附属病院の ホームページが 新しくなりました！



患者中心の医療

安心安全な高度の医療

患者そして家族と共にあゆむ医療

医療人の育成

地域への貢献

Contents

- 2 この春、帝京大学病院のホームページが新しく生まれ変わりました。
泌尿器科 講師 磯谷 周治
- 4 こどもたちの幸せを願って
小児外科 講師 井上 幹也
- 5 消化器に関連した悩みをお持ちの患者さんのために
内科学講座 教授 喜多 宏人
- れんげいピックアップ
6 地域医療のコンシェルジュ!!「医療連携室」のホームページをリニューアルしました。
板橋区と共同で「がん検診受診促進イベント@板橋Cityマラソン」を行いました!!
- 8 編集後記

リニューアルいたしました。

泌尿器科 講師 磯谷 周 治

時代の進化に合わせ、誰もが使いやすいホームページを提供するため、
全職種が職種をこえて協力しあい、制作いたしました。
ぜひ一度ご覧ください。



交通アクセスの
紹介が充実。
ここをクリック!!

なんでも検索
医師検索、
病名検索はここから。

動画コンテンツが
充実しました。

このたび新たに、病院
紹介、病院長あいさつ、
診療科や各部門の紹介
動画もリニューアルさ
れました。トップページ
から3つの動画を見る
ことができます。

私たちが
力を入れていること
各種センターや看護部、
臨床研修センター、医療
連携のページを紹介し
ます。

YouTubeページも
制作しました。
一度、ご覧ください!

帝京大学医学部附属病院のホームページを

優れたホームページを提供することは、病院にとって重要なことです。とくに、地域の基幹病院であり、医学教育を行なう場であり、先端の医学研究といった臨床とアカデミックな側面を併せ持つ大学病院にとっては、いまやホームページは、病院の建築とおなじぐらい大きな存在となっています。

帝京大学病院のホームページは5年前に作成され、web技術の進歩と共にアップデートを繰り返してきました。しかし、急速なインターネット環境の発展や、スマートフォンに代表されるモバイル機器の登場などの変化に対応できなくなりつつありました。

私たちは、一昨年の2011年の11月より、ホームページ・リニューアルにむけての調査を行ない、昨年の2012年の3月からホームページ・リニューアルWGとして活動を行なってきました。院内のほぼ全職種が職種をこえて協力し、グループミーティングを重ねながら、さまざまな意見をシェアしてきました。私たちは大学病院の品格を保ちながら、親しみやすい、だれにも優しい操作性をもったホームページを提供したいと考えました。また、力強い情報発信を行ない、医療連携に活用する事も重視しました。そして新しいホームページの特徴として、特に以下の5点に注力する事としました。

リニューアルの要点

- 1 機能的でわかりやすいデザインへの一新
- 2 検索機能の充実
- 3 交通アクセス紹介ページの拡充
- 4 動画コンテンツの追加、アップデート
- 5 ページを支える最先端のweb言語HTML5やPHPデータベース機能の導入

実際の作業として、ホームページの制作会社の株式会社OMCに甚大なご協力いただき、根本的な構造からホームページをリニューアルする事としました。くわえて、300ページをこえる情報量のページを、1枚1枚見直す事としました。これまで作られていなかった部門を追加し、新たに病院紹介や診療科紹介、部門紹介といった動画を病院スタッフの協力を得ながら撮影し、編集作業を行ないました。

さて、こうして作成された帝京大学病院のあたらしいホームページ、皆様もぜひ一度ご覧いただける

と、幸いに存じます。

また、非常にお忙しい業務のなかホームページ制作にご協力いただいた病院スタッフの皆様、私たちの無理な要望を何度も快く引き受けていただいた制作会社の株式会社OMCの皆様、適切な助言と厚い励ましをいただきました病院運営・理事の皆様、この場を借りて、御礼を申し上げます。ありがとうございました。

検索で「帝京大学病院」を検索いただくか、

帝京大学病院

検索

<http://www.teikyo-hospital.jp>

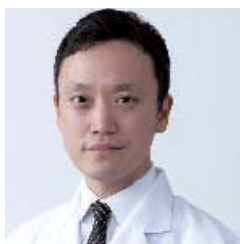
のURLをご入力ください。



PROFILE

泌尿器科 講師 磯谷 周治

1996年富山医科薬科大学医学部医学科卒業、神戸大学泌尿器科に入学、2002年に米国エモリー大学留学、その後2007年より帝京大学附属病院泌尿器科、助教。2010年より講師。専門領域：腎移植、尿路結石、泌尿器科内視鏡手術、医療画像を用いたナビゲーション手術、医療ITコミュニケーション



Pediatric Surgery

子どもたちの幸せを願って

小児外科 講師
井上 幹也

このたび小児外科講師に就任

した井上幹也と申します。小児外科とは脳脊髄、眼、耳鼻咽喉、心臓大血管、骨などを除く小児に特有または多い病気を広く扱う診療科であります。こどもはおとなのミニチュアではなく、おとなの手術と同じ方法ではこどもの手術は行えません。こどもについての専門的な知識を持った外科医、それが小児外科医であり、将来をになうこども達を誇りと情熱をもって治療しています。

下記、表のごとく小児外科で扱う疾患は多数あります。小児の外科疾患でお困りの際はなんでも当科に紹介いただければ当科にて診療を行います。また必要な際には適切な診療科・施設に責任をもつてご紹介させていただきます。

さらに小児外科では中学生までの小児のみを診療する科ではなく、小児に特有な疾患であれば年齢を問わず診療いたします。

「外来」

現在外来診療日は左記の様に
行っています。

曜 日	時 間	担当医
水曜日	9:00-12:00	井上
金曜日	14:00-16:00	井上
第3土曜日	9:00-12:00	井上

「入院」

入院に関しては小児病棟にて小児、家族の援助の出来る看護師の協力のもと治療を進めさせていただきます。

「総合周産期母子医療センター」

また当院は総合周産期母子医療センターでもあり、胎児医療、新生児医療、新生児手術を産科、新生児科、小児外科とお互いに協力し合い行っています。

これからも未来ある子供達の手助けが出来るよう頑張っていく所存です。帝京大学医学部附属病院小児外科を宜しくお願いいたします。

頭頸部疾患	正中頸嚢胞、耳前瘻
食道疾患	先天性食道閉鎖症、先天性食道狭窄、腐食性食道炎
横隔膜疾患	横隔膜ヘルニア、胃食道逆流症、食道裂孔ヘルニア
胃・十二指腸疾患	胃軸捻転症、肥厚性幽門狭窄症、胃・十二指腸潰瘍
小腸・大腸	胎便関連性疾患、腸回転異常症、腸重積症、胎便性腹膜炎、Meckel憩室、炎症性腸疾患、腸管ポリープ、虫垂炎、Hirschspurung病、消化管閉鎖症 先天性十二指腸閉鎖症、先天性小腸閉鎖症
直腸・肛門	直腸脱、肛門周囲膿瘍、裂孔、直腸肛門奇形、慢性便秘症
肝・胆・膵	胆道閉鎖症、先天性胆道拡張症
腹壁・臍・鼠径部	臍帯ヘルニア、腹壁破裂、鼠径ヘルニア、精索水腫、Nuck水腫、停留精巣、
小児腫瘍	神経芽腫、腎悪性腫瘍、肝悪性腫瘍、胚細胞腫瘍、横紋筋肉腫、悪性リンパ腫、血管腫、リンパ管腫

PROFILE

小児外科 講師 井上 幹也

専門分野 小児消化器外科、小児外科一般

所属学会・資格 日本外科学会・専門医、日本小児外科学会・

専門医、評議員、日本周産期・新生児医学会

経歴

1995年 日本大学医学部卒

2004年 日本大学外科学講座小児外科部門助手

2013年 帝京大学外科講師



Gastroenterological medicine

消化器に関連した悩みをお持ちの患者さんのために

内科学講座 教授
喜多 宏人

平成25年4月1日に内科学講座の教授に就任しました喜多宏人です。私が専門にしております消化器内科は、食物の消化吸収に関わる病気の内科的治療を行う診療科です。食道・胃・小腸・大腸・肝臓・胆嚢・膵臓などの病気を診断・治療しています。これらの病気の多くは食事や生活習慣と密接に関係していますので、長期の通院加療が必要な病気が多く含まれます。

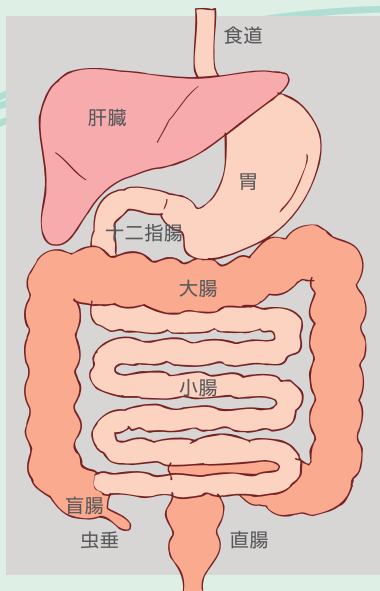
患者さんのなかには、消化器内科だけではなく他の内科の病気をもちの方もおられます。帝京大学内科学講座には、糖尿病や呼吸器など、消化器内科以外の分野を専門とする医師が多数在籍しておりますので、このような場合には、複数の専門の医師が常に関連をとりながら、一人一人の患者さんにとって最適な方針を検討することができます。一方、消化管出血など迅速な対応が迫られる病気に対しましても、救急科と連携を

とりながら、内視鏡止血術などの適切な処置を行っています。

一般には内視鏡検査はつらいと思われるがちであり、検査を受けることをためらう患者さんが多いようですが、当院は最新の内視鏡設備を揃えており、内視鏡検査の経験豊富な熟練したスタッフが多数在籍しておりますので、安心して上部内視鏡や大腸内視鏡を受けていただくことができます。

また、消化器内科は癌の患者数が多い分野です。最近では消化器癌に対する低侵襲治療はめざましく発達しています。

食道がん、胃がん、大腸がんは、早期に発見できれば内視鏡を用いて切除することができ、肝臓がんもラジオ波による焼灼を行うことが可能です。今後高齢者数の増加が予想される我が国におきまして、臓器を残して病気を治すこれらの低侵襲治療の役割はますます重要になると考えられます。消化器癌の内視鏡切除や肝臓がんの焼灼などの低侵襲治療は、専門的な技術の習得と多くの経験の蓄積を必要とします。帝京大学内科学講座にはこれらの治療の経験豊富な専門家が揃っており、安心して治療を受けることができます。消化器に関連した悩みをお持ちの患者さんがおられましたら、是非ご相談いただければと思います。



PROFILE

内科学講座 教授 喜多 宏人

昭和63年東京大学医学部卒業。平成9年九州大学生体防御医学研究所附属病院内科助手、平成11年カリフォルニア大学留学、平成14年自治医科大学消化器内科助手、平成19年埼玉医科大学国際医療センター消化器内科准教授、平成20年同教授・内視鏡検査治療センター長、平成25年4月より現職。専門は消化器内科、消化器内視鏡。日本消化器病学会指導医、日本消化器内視鏡学会指導医、日本肝臓学会指導医。



地域医療のコンシェルジュ!!

「医療連携室」のホームページをリニューアルしました。

この春、帝京大学病院のホームページが新しくなりました。

医療連携室でもホームページのリニューアルを行い、

機能的でわかりやすくかつタイムリーに

情報をお届けすることを主眼に置き作成いたしました。

力を入れている項目としてトップページにも

「医療連携」のバナーがありますので

そちらをクリックしていただき、

新しくなったホームページを是非ご覧ください!



こちらをクリック!!

医療連携室

ムービー

医療連携室の紹介動画

医療連携室の紹介動画

なんでも検索

電子版診療案内としてご利用ください!!

病名検索

診療科を探す

医師名キーワード検索

紹介状をお持ちの初診患者さんへ

TEL.03-3964-1498

患者さんをご紹介くださる先生方へ

TEL.03-3964-1498

医療連携登録医制度のご案内

医療連携室より情報発信

放射線検査の予約はこちら!!

医療連携関連書類

医療機関向け初診患者さん紹介のご案内

ご紹介の手順をわかりやすくご案内

セミナーや勉強会など医療連携に関する最新情報を掲載!!

紹介状から診療案内まで、医療連携室発行の書類すべてがこちらよりダウンロード可能です!!

板橋区と共同で

「がん検診受診促進イベント@板橋Cityマラソン」 を行いました!!

「板橋Cityマラソン」には主に首都圏から30代〜50代を中心にランナー約20000人が集まる大規模な大会につき、検診を促すには絶好の機会と捉えたからです。

日頃、当院で開催している市民向けセミナーなどの、「健康に興味のある方にお越しいただく」『ブル型』活

去る、3月24日(日)板橋区健康推進課、日大板橋病院、帝京大学病院が合同で「板橋Cityマラソン」でのヘルスプロモーション活動を行いました。

当院では、検診率の向上を図ることが、皆様の病気の早期発見や治療につながり、必ずQOLの向上に貢献できると考えております。



▲当院より参加のスタッフ



▲ランナーへピンクリボン配布

動ではなく、人の集まるところへ積極的に出ていき「健康に興味をもっていたく」『ブッシュ型』活動の一環として、板橋区の掲げる「いたばし健康プラン」と当院の「がん検診受診促進キャンペーン」でコラボレートして行いました。

当院からは、乳がん看護認定看

今後も「トータルで地域に頼られる医療機関」を目指し、病気の治療を行うだけでなく、皆様の健康啓発の一助を担えるよう、予防活動も合わせて行つてまいりたいと考えておりますので、是非ご期待ください。

また、最後になりますが非常に

お忙しい中このような機会をいただきました板橋区健康推進課の皆様および日大板橋病院の皆様には誌面を借りて御礼を申し上げます。



▲ヘルスプロモーション配布資料の一部

名が参加しました。

早朝から私たちもランナーに負けじとピンクリボンを配布し、また、ブースでは模型を使った乳がんの自己検診の方法や肺年齢測定などの健康啓発活動を行い、延べ1500名強の方にご来場いただき非常に活気にあふれておりました。



▲乳がん看護認定看護師による自己触診のレクチャー風景



▲出展ブース



▲万が一に備えて救急車も待機

帝京大学病院では紹介状があれば初診でも予約※ができます。
 なお、紹介状のない方は直接ご来院ください。 ※事前にお電話下さい

受診までの流れ

帝京大学病院では、かかりつけ医との機能分担を
 することにより、専門的な治療(手術、入院、精密
 検査など)をおこないます。



帝京大学医学部附属病院
 予約専用(医療連携室)
03-3964-1498

予約受付 平 日 8:30~17:00
 時 間 土 曜 日 8:30~12:30

初診受付

診療受付 平 日 (予約あり)
 時 間 8:30~14:30
 (予約なし)
 8:30~11:30
 13:00~14:30
 土 曜 日 8:30~11:30

紹介状をお持ちの患者さん

- ① 予約電話(03-3964-1498)までお電話ください。
 電話予約の際にご確認させていただく項目
 (お名前、生年月日、性別、住所、電話番号など)
- ② 予約完了
- ③ 当日は15分前までに初診受付までお越しください。

紹介状をお持ちでない患者さん

- ◎ 初診受付
 診療受付時間 平 日 8:30~11:30/13:00~14:30
 土 曜 日 8:30~11:30
 直接初診受付へお越しください。

アクセスマップ



- JR京京線
 「十条駅」より徒歩10分
- 地下鉄都営三田線
 「板橋本町駅」より徒歩13分
- 国際興業バス
 王子駅←→板橋駅
 「帝京大学病院前」下車
 赤羽駅西口←→王子駅
 「上十条4丁目」下車徒歩3分
 赤羽駅東口←→高円寺駅
 「姥ヶ橋」下車徒歩5分
 王子駅←→上板橋駅
 「姥ヶ橋」下車徒歩5分
- 都営バス
 王子駅←→新宿駅西口
 「姥ヶ橋」下車徒歩5分
- タクシー
 十条駅より基本料金内
- 車 地下駐車場を完備
 (221台収容可能【有料】)

※入院手続や外来診療でお越しの方は
 100分間無料(以後25分毎100円)

編集後記

「ぜひ!HPをご覧ください!」

今号で取り上げておりますとおり、4月より帝京大学病院のHPが新しく生まれ変わりました。「ASSIST」をお読みになられた方々は、もうHPをご覧いただきましたでしょうか?患者さんや医療従事者の方々のニーズを捉えられるようなものをコンセプトに、病院全体でHPの大改革に取り組んで参りました。Dr紹介や各科の取り組み、また各職種においてページを盛り込んでおり、動画も多数掲載しておりますので、様々な角度から帝京大学病院をご覧いただけたと思います。更にスマートフォン版も作成されておりますので、ぜひあわせてご覧ください!



特定機能病院病院機能評価Ver.6.0認定
 地域がん診療連携拠点病院
 東京都災害拠点病院

帝京大学医学部附属病院

〒173-8606 東京都板橋区加賀2-11-1

TEL.03-3964-1211 (代表)

<http://www.teikyo-hospital.jp/>

お問い合わせ E-mail/renkei@med.teikyo-u.ac.jp



Department of hematology



■ スタッフの専門領域

白藤 尚毅 教授	造血器悪性腫瘍（白血病）、造血発生、遺伝子治療
川杉 和夫 教授	血栓止血分野（DIC、血友病等）
秋山 暢 准教授	造血器悪性腫瘍全般、血液感染症
大井 淳 病院准教授	造血器悪性腫瘍（白血病）、臍帯血移植療法
白崎 良輔 助教	造血器悪性腫瘍（多発性骨髄腫）
岡 陽子 助手	造血器悪性腫瘍全般、尿酸代謝、糖尿病
山本 義 医師(大学院生)	血栓止血分野（DIC、血友病等）
松尾 琢二 医師(大学院生)	造血器悪性腫瘍全般

■ 血液内科紹介

血液悪性腫瘍性疾患（白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫など）、凝固異常症を中心に種々の血液疾患の治療を行っています。凝固異常症に対する治験や造血幹細胞移植など最先端の治療を行っています。

今回は、高齢者の腰痛というありふれた病気の中に隠れている『多発性骨髄腫』についてご紹介します。

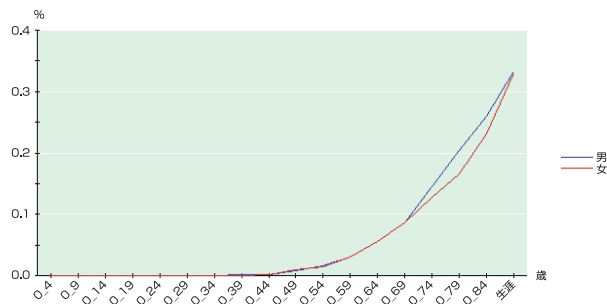
多発性骨髄腫はBリンパ球より分化した抗体産生細胞である形質細胞が癌化した疾患です。

骨痛（特に腰痛）を主訴に来院するため、整形外科や一般内科での診療において発見される事が非常に多い疾患です。

がん全体の1%を占め、日本では年間約4,000人の新規罹患を認め、日本国内での年間罹患率は10万人当たり約2～3例です。しかし、70歳以上のみで考えると1万人当たり約1～3例と多く、生涯発症リスクは0.3%（300人に1人）程度と、決して稀な疾患ではありません。

好発年齢は50～80歳であり、男女比はほぼありません。

年齢階級別がん累積罹患リスク
〔多発性骨髄腫 2005年〕



資料:独立行政法人国立がん研究センターがん対策情報センター
Source: Center for Cancer Control and Information Services,
National Cancer Center, Japan



Department of Hematology

初期症状は疼痛が最も多く6割近くの患者さんが訴え、大部分は腰痛であり、そのほか胸・背部痛があります。この痛みは多発性骨髄腫の破骨細胞刺激による骨破壊、骨折や腫瘍による神経圧迫により生じます。

また、貧血症状、全身倦怠感、体重減少、易感染性、腫瘍形成、浮腫みなどを初発時に認める事が多いです。

この他、破骨細胞による骨吸収の結果である高カルシウム血症

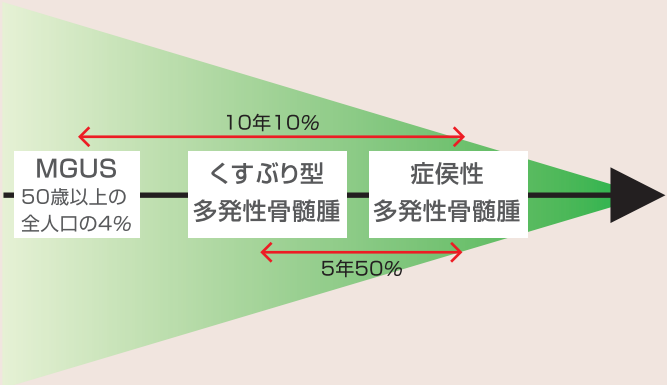
や多発性骨髄腫細胞のアンモニア産生による意識障害などが出現することもあります。

検査所見としてはレントゲンでの骨打ち抜き像、溶骨性病変の検出、採血では蛋白上昇、蛋白アルブミンの解離などを認めた場合には特に蛋白分画をスクリーニング検査として施行し、診断確定には骨髄穿刺が必要です。

多発性骨髄腫の初発症状ないし主訴の頻度（未治療例）												・単位: %
症状・主訴	戸川ら	今村ら	Talanoら	症状・主訴	戸川ら	今村ら	Talanoら	症状・主訴	戸川ら	今村ら	Talanoら	
疼痛（腰・胸・背痛など）	58.2	67.5	62.0	下肢脱力		3.2		血沈亢進	6.6	1.6	1.0	
貧血症状	27.5	18.6	58.0	易感染症	12.1		1.0	浮腫	1.1	5.5		
めまい		4.0		咳		1.6		骨変化（X線上）		3.2		
動悸・息切れ		4.0		発熱		11.5	1.0	骨折		2.8	9.0	
頭痛・頭重感		4.0		肺炎		2.4		肝腫		2.0		
全身倦怠・易疲労感	22.0	5.5		食欲不振	12.1	5.5		脾腫		1.2		
蛋白尿	12.1	7.5	3.0	腫瘍形成	4.4	8.7	4.0	リンパ節腫		9.5		
神経症状	12.1		7.0	出血傾向	3.3	7.5	2.0	その他	19.8※			
対麻痺	3.3	7.9		高Ca血症			9.0					

※ 菌状患内腫、紅皮症、帯状疱疹、心筋梗塞、高血圧、飛蚊症、糖尿病、胃癌、乳癌、高尿酸血症で来院し骨髄腫が見出されたもの
改訂 多発性骨髄腫, p.44, 2002（新興医学出版社）

多発性骨髄腫のほとんどは数年〜数十年のMGUS（意義不明の単クローン性ガンマグロブリン血症）を経由して初期段階にあたるくすぶり型多発性骨髄腫、その後症候性の多発性骨髄腫となります。症候性の多発性骨髄腫のみが治療の適応となります。



骨髄腫の診療は2003年頃（日本では2006年）より飛躍的進歩を遂げています。

1960年代より長く標準療法であったMP療法（アルケラン、プレドニン）では生存期間の延長効果が無い事が判明していましたが、数年前まではこれを使用していました。

しかし、3種類の新規抗癌剤（ボルテゾミブ、サリドマイド、レナリドマイド）の登場により現在は従来の治療にこれらの薬剤を組み合わせた治療法が第一選択となり、生存期間においても2年以上の延長が期待されており、治療を行う事により多発性骨髄腫全体では生存期間中央値は7年程度とされます。

最後に

多発性骨髄腫は腰痛を来す内科疾患の代表です。早期に発見できればQoLを維持する事が出来、治療を行う事により生存期間の延長も期待できます。もし高齢者の腰痛でレントゲンにて圧迫骨折を見た場合には採血の折に蛋白分画を測定いただく事をお勧めいたします。

当院では70歳以上の高齢者多発性骨髄腫に対する多施設共同研究も開始しています。骨折から来るADLの低下であれば寝たきりの状態でも参加可能です。

ぜひご紹介いただければ幸いです。